

# 「考えよう！女性のワーク・ライフ・バランス」

～家事も育児も仕事も 輝いた人生を送るために～



(座談会の様子)

「家事も育児も仕事も責任を持ってやらなければならない。」多くの女性はこのような悩みを抱えているのではないのでしょうか。そこで、様々な立場で子育てや仕事等に向き合っている6名の女性に集まっていただき、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、日頃の工夫や大変さ、これから親になる人へのメッセージなどを率直に話をさせていただきました。(※主な意見を掲載したものです。)

**★ワーク・ライフ・バランスとは★** 一人ひとりがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などにおいても、子育て期、中高年期といった人生の各段階に応じて多様な生き方を選択・実現できることを言います。

## ▼女性が生き生きと活躍できる社会(職場)にするにはどのようなことが必要だと思うか▼

**コーディネーター**：女性が活躍できる社会を実現するためには、保育所など社会基盤の整備はもちろん大切だと思いますが、柔軟に働ける職場環境の整備が必要ではないでしょうか。女性も働きたい人は多いわけですが、自分が望む条件と合わないことで色々とありますよね。

**Aさん**：私が仕事を探し始めたとき、子どもが小さい頃は病気など色々あるので、1人分として要求される仕事は、会社にも迷惑をかけてしまうので無理だと思いあきらめました。例えば、1人分の仕事量を3人で分担するような体制があれば助かりますよね。平日時間が余っているママさんたちはたくさんいるので、そういう働き方ができたらいいと思います。少しずつでも仕事をしたいという女性は多いと思います。

**Bさん**：家庭を持っている同僚からは、「あと30分でいいので自由になる時間がほしい。」という意見は聞きます。やはり、子育てや家庭にかける時間が必要だというときに、誰かが変わってくれるような職場であると、長く働き続けられるのだと思います。また、子どもの数が増えれば、会社の制度がしっかりしていることに加えて、家族の支えがあることが重要だと思います。会社でもワークシェアリングの考え方があれば、なお良いと思います。



★コーディネーター★  
株式会社フジスタッフ  
執行役員 堤 ゆう子 さん  
(現 株式会社モンドコンシャス代表取締役)

**Cさん**：私もまだ、子どもが1人目だからよいのですが、2人目が生まれたら大変だと思います。子どもに熱が出たときとか。

**Dさん**：仕事がありますと、本当に大変です。子どもを保育園に預けて働いている友達もいますが、一方で、働きたくても保育園に預けられなくて、困っているという話もよく聞きます。

**コーディネーター**：そうですね。保育園に入れることはできたけれども、自宅から遠いところであったり、保育時間が自分の就労時間に合わないなど、課題もあります。

**Fさん**：働きやすい社会基盤の整備は、時代とともに徐々に整備されてきていると思いますし、それを利用していかねければならないと思います。一方で、せっかく制度があるにもかかわらず、なかなか利用したくても利用できないような社会や職場の風土があります。例えば、男性は、育児休業制度を使いこなせていない。自分の意思を伝えて、制度を利用していくことが大事だと思います。

## ▼座談会のまとめ・感想▼

**Aさん**：女性は1人で家事・育児プラス仕事をこなしても大変だと考えるのではなく、家族の協力を得ながら、色々なことにチャレンジし、前向きに取り組むことで、人生の好循環をつくれるのではないかと思います。確かに、大変さはあるかも知れませんが、自分を高めているという意識を持てば、頑張れるのではないのでしょうか。そうすれば、なぜ自分だけが大変な思いをするのかと思わずに、これから先も社会や仕事と前向きに関わっていけるのではないかと思います。

**コーディネーター**：女性の人生は、ライフステージによって本当にドラマティックに変わります。就職、結婚、出産、育児など、自分の人生を自分で決めていく場面に、何度も直面します。だからこそ、女性も自立し、そして、男性も女性も助け合っていく必要があるのだと思います。

本日お集まりの皆さんには、是非、自分なりのワーク・ライフ・バランスを実現していただきたいと思います。本日はありがとうございました。

### 【参加者プロフィール】

Aさん 30代女性、夫と子2人の4人家族  
Bさん 30代女性、父母と3人家族  
Cさん 30代女性、夫と子1人の3人家族  
Dさん 30代女性、父母と子1人の4人家族  
Eさん 30代女性、夫と子1人の3人家族  
Fさん 70代女性、夫と2人家族

※座談会の詳細につきましては、市ホームページに掲載しております。